

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 667 2023年
1部60円 5月号
友の会会員は会費に含まれています
発行 東京勤労者医療会代々木病院
院長 河邊 博正
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL 03(3404)7661
http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi



「代々木病院の歴史と役割」を話す小野事務次長。熱心に耳を傾ける新入職員

はたがや協立会が 東京勤医会と法人合同

安心して住み続けられるまちに よりスムーズな医療・介護連携へ



はたがや協立診療所スタッフのみなさん、前列左から園田所長、阿部事務長、後列左が赤羽看護師長

はたがや協立会・はた 医療会と合同します。がや診療所は、2023 今後、同じ渋谷区内の年5月1日に東京勤労者 代々木病院とともに「安

心して住み続けられるま ちづくり」を实践し、よ りスムーズで切れ目のな い医療・介護連携を目指 します。

はたがや協立診療所 は、渋谷西部(幡ヶ谷、 笹塚、本町)地域に「こ のまちで暮らし続けたい」という住民の願いに

よりの2000年12月1日 に開設されました。診 療圏となる幡ヶ谷・本町地 域は、都営のアパート、 商店街も個人商店が多く

残る町です。渋谷区の中 では比較的家賃が安いこ ともあり、高齢者から若 年世代、三世帯世帯の方

に開かれた。診療 圏となる幡ヶ谷・本町地 域は、都営のアパート、 商店街も個人商店が多く

残る町です。渋谷区の中 では比較的家賃が安いこ ともあり、高齢者から若 年世代、三世帯世帯の方

に開かれた。診療 圏となる幡ヶ谷・本町地 域は、都営のアパート、 商店街も個人商店が多く

残る町です。渋谷区の中 では比較的家賃が安いこ ともあり、高齢者から若 年世代、三世帯世帯の方

無差別平等の医療を目指し、新しい仲間とともに

現場の実践等を学ぶ 新入職員が代々木病院へ入職

4月1日、東京勤労者 医療会へ入職式が行わ れ、代々木病院では新入 職員を迎え、入職オリエンテーションを行いました。 様子をご紹介します。

代々木病院の歴史と 役割について

代々木病院小野事務次 長の講師に、代々木病院

は、戦後間もない1946年に診療所として開設され約75年の歴史があります。1980年代は250床の急性期病院として医師をはじめとした後継者養成の役割を担って来ました。設立時から「ヒューマニズムに基づいた医療」を理念に、働く人々が病気になる時に経済的な心配なく安心し

て医療を受けられる無差別平等の医療を目指し取り組んできました。人権を守る医療、差額ベット代なしを堅持してきました。被爆者医療では原爆者の診療や健診を行ってきました。透析医療では1970年血液透析治療開始と共に代々木病院腎友会(患者会)が結成され、翌年の全腎協結成に尽力し、1972年更正医療の適応となりました。



六号坂通り商店街沿いにあるはたがや協立診療所。手前のベンチは、坂の途中で休憩できるようにと、六号坂通り商店街振興組合からの依頼に応じて設置されました

やワクチン接種にも積極的に取り組むなど、地域の医療要求にも幅広く応えてきました。開設時から所長である園田医師は、「病気だけでなくその人の背景もみていくという民医連の精神を常に心がけています。医療も介護も国の制度が変わる中、大切なことはこの地域を住民が安心して住める町にしておくこと」と話されます。事務長の阿部孝史さんは、「はたがや協立診療所が開設された2000年は介護保険がスタートした年です。医療・介護を取り巻く社会保険制度は厳しさを増しています。が、はたがや協立診療所の実践に確信を持ち、今後も代々木病院として連携しながら、困難に立ち向かっていきます」と決意を述べました。

千駄の萱

私事で恐縮だが、我が子の保育園にて取り組まれていた活動のひとつにクラス全員で桜の木の一年を描くというものがあると聞いた。花を咲かす賑々しい季節だけではなく、一見活動していないかのように見える冬の季節の桜も描くのだった。暗い冬の時代にも目を向けようとするその取り組みが素敵だと思った▼子どもたちの話は私に牟礼慶子の「見えない季節」という詩を想起させた。「できるなら 日々のくらしを 土の中のくらしに似せてはいけなくていいよ」と始まる詩は暗い土の中で行われている美に賑やかな生の営みを寿いでいる▼今の日本の暗さを土の中の暗さに例えることができるだろうか。戦争までのレールはすでに敷かれてしまった。政府は戦争まで突き進むつもりだ。それをどこで食い止めることができるかは、いよいよ我々市民の手に委ねられた。歴史から学び、想像力を駆使して考えよう。牟礼慶子の詩はこう締めくくられる。「人間の知恵は触れればくずれるチューリップの青い芽を、まだ見えないうちにさえ、春だとも未来だともよぶことができるのです」(け)

か。戦争までのレールはすでに敷かれてしまった。政府は戦争まで突き進むつもりだ。それをどこで食い止めることができるかは、いよいよ我々市民の手に委ねられた。歴史から学び、想像力を駆使して考えよう。牟礼慶子の詩はこう締めくくられる。「人間の知恵は触れればくずれるチューリップの青い芽を、まだ見えないうちにさえ、春だとも未来だともよぶことができるのです」(け)